

「東日本大震災から学ぶ」

第26回地域・自治シンポジウム ～もやいっこでまちづくり～
とき／2月19日(日)
場所／ふじみ野交流センター(駐車場はありません)
主催／第26回地域・自治シンポジウム実行委員会、市、市教育委員会
後援／富士見市社会福祉協議会、ふじみ福祉フォーラム21実行委員会

東日本大震災は、私たち市民にとつて地域での暮らしや生活を考えるうえで欠くことのできない問題を提起しました。実際、市内でも280人を超える帰宅困難者が公共施設へ避難し、3万戸以上で停電が発生し、不安な夜を過ごしました。

今年のシンポジウムは、被災地の経験を学び、市内で何が起こったのか、今後どのような地域づくりが必要かを学びます。

- 講師／天野和彦氏(福島県文化スポーツ局職員・2千500人もの避難者がいた「ビッグパレットふくしま避難所」運営チーム特命担当)
- 第1分科会
3・11に富士見市で何が起きたか？子どもたちは？
- ①学校、保育所、放課後児童クラブなどの状況は？
- ②震災後一年経っての課題は？

基調講演／午前10時～正午
分科会／午後1時～3時
全体会／各分科会報告ほか／午後3時30分～4時30分

- 第2分科会
農による仲間づくり・居場所づくり～震災から学ぶ・農の立場から思う～
- ①農による「もやい村」での体験と絆づくり
- ②「もやい村」の絆と農家の強さに学ぶ
- ③遠距離介護と被災地の状況
- ④災害ボランティア活動に参加して

- 第3分科会
被災地を訪ねて～この目で見た現状～
- ①災害時における障がい者への被災地支援と活動
- ②被災地の支援活動に参加して
- 第4分科会
3・11から学ぶ公共施設づくり
- ①3・11その時、市内の公共施設は？
- ②今後の対策は？

ひとり語り「恋文」
～届かなかった広島の高学生の恋文～
鶴瀬公民館 ☎049-251-1140

俳優・米川味子さんの原爆に関する童話のひとり語りです。原爆を告発する作品を多く残した作家石原澄子さんの作品集「花筐」から3作品と米川さんの母親が原爆で無くなった弟へ向けて書いた手紙の計4作品を語ります。

米川さんのしみじみと心に訴えかけてくる語りをぜひお聞きください。
とき／2月4日(土)午後2時開演(1時30分開場)
場所／鶴瀬コミュニティセンター1ホール(無料、申込み・整理券不要)
出演／米川味子(語り)、外川明子(ピアノ)

「私は被爆2世です。私の母親の実家がある広島は、夏休みを過ごした大切な故郷です。原爆で、母の弟は19歳で帰らぬ人となりました。母は祖母とともに弟を探して、原爆投下後の広島を何日も歩きまわったそうです。被爆体験を長く公言しなかつた母が7年前、『弟、晴二』と題する手紙をしたためました。涙のじむ、えんぴつ書きの手紙に、母の手紙を手にしたときから、生きていく限り、語り続けていこうと決意しました。」
米川味子



1トを盛り上げます(無料)。とき／2月12日(日)午後1時開演(12時30分開場)
場所／鶴瀬コミュニティセンター1ホール
出演／ふじみ青年学級、ゆいの里、どんどこ、かじ兵衛太鼓
主催／ゆいの里・どんどこ・鶴瀬公民館
後援／富士見市社会福祉協議会

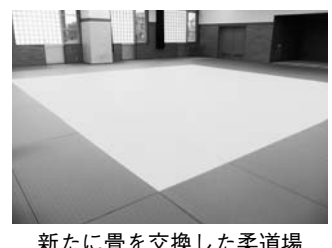
バレンタインコンサート
鶴瀬公民館 ☎049-251-1140

障がいのある方の文化活動支援と地域交流を目的とするコンサートです。日々の練習成果を披露し、かじ兵衛太鼓と一緒にコンサート



試合場の大きさや畳の色の変更されたため、柔道場の畳を新たに交換しました。試合場内はグリーン、場外はグリーンの色鮮やかな畳になりました。
今回交換した畳133枚は、富士見台・本郷・勝瀬の3中学校に送り、平成24年度から必修となる武道の授業などで活用されます。
なお、この畳の交換工事は、スポーツ振興くじ助成金を受け行われました。

市民総合体育館の柔道場の畳を交換しました
生涯学習課 ☎634



平成24年度募集

学校教育に理解のある方の応募をお待ちしています。
申込み／2月1日(水)～15日(水)に応募用紙を郵送または直接提出してください。(応募用紙は学校教育課にあります)
〒354-0021 富士見市鶴馬1873-1 学校教育課
問合せ／学校教育課 ☎622

基礎学力定着支援員(募集人数11人)

学習指導の充実のため、すべての小学校に配置しています。校長や担当教員の指導のもと、授業中の学習指導の補助をしながら、学習が遅れがちな児童の個別対応や個別指導を行います。また、不登校傾向の児童への支援なども行います。

応募条件／児童の健全育成に知識や経験があり、教員免許をお持ちの方
勤務時間／月々金曜(週5日) 1日5時間
勤務期間／原則1年間
(年間20日)
賃金／時給970円を予定



すこやか支援員(募集人数35人)

小・中・特別支援学校で、教育上特別な支援が必要な児童生徒に、着替えや教室移動など日常生活動作の介助、励ましの声かけや付き添いなど学習活動上の課題に対する支援を行います。

応募条件／教育上特別な支援を必要とする児童生徒の健全育成に意欲的に取り組める方
勤務時間／月々金曜(週5日) 1日6時間
勤務期間／原則1年間(年間20日)
賃金／時給850円を予定

ふれあい相談員(募集人数12人)

いじめや不登校などの解消を目指し、教育相談活動を充実させるために、すべての中学校に配置しています。相談室で、いじめや不登校などについて生徒や保護者との面接相談や電話相談に応じたり、家庭訪問を行ったりします。また、通学区の小学校での相談にも応じます。

応募条件／子どもの悩みなどについて相談に応じ、児童生徒の良き相談相手として活動できる方
勤務時間／月々金曜(週5日) 1日4時間
勤務期間／原則1年間(年間20日)
賃金／時給830円を予定

学校図書館整理員(募集人数18人)

学校図書館経営の充実のために、すべての小・中・特別支援学校に配置しています。図書の整理や貸し出しを行ったり、児童生徒に図書の紹介や図書館の使い方の支援、読み聞かせ(小学校)などを行います。

応募条件／学校図書の整理などに意欲的に取り組める方
勤務時間／月々金曜(週2日) 1日4時間
勤務期間／年間80日
賃金／時給820円を予定



AET募集 ～英語教育指導助手～

問合せ／学校教育課 ☎622
募集人数／5人
資格／●英語を母国語とし、日常会話程度の日本語ができる方
●国内での就労が可能な査証(ビザ)をもっている方
●大学の学士号取得者または同等の方
勤務内容／市内小中学校で、主に外国語活動、英語の授業の補助など
勤務時間／月～金曜(週5日、年間180日を予定)原則午前8時20分～午後4時50分(1日7時間30分)
賃金／日額15,000円を予定
応募方法／2月15日(水)までに、履歴書を学校教育課へ郵送または直接
〒354-0021 富士見市鶴馬1873-1 学校教育課

AET required for Fujimi Municipal Board of Education ~Assistant English Teacher~
Number of persons : 5 teachers.
Qualification :
● Being a native speaker of English and being able to communicate in Japanese in daily life.
● Getting a working visa in Japan.
● Receiving a Bachelor of Arts or Science and so on or the equivalent.
Duties : To give guidance to the students in the classes of English activities or lessons mainly at schools in Fujimi City and so on.
Working days : From Monday to Friday. (5 days per week) About 180 days from April, 2012 to March, 2013.
Working time : From 8 : 20 a.m. to 4 : 50 p.m. in principle. (For 7 hours and 30 minutes per day)
Remuneration : About 15,000 yen per day.
How to apply : Please bring or send your personal history to the following place by February 15.
〒354-0021 1873-1 Tsuruma, Fujimi City
School Education Section, Fujimi Municipal Board of Education
Inquiry : TEL 049-251-2711, extension 622
Please ask School Education Section, Fujimi Municipal Board of Education if you have questions about this article.